

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2021年7月～9月期 NO. 64

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

【概況】 2021年7月～9月期の業況は▲12.3、前期比 2.7ポイントプラスと上向きました。
来期は姫路地域では上向き、神戸地域では低迷する見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

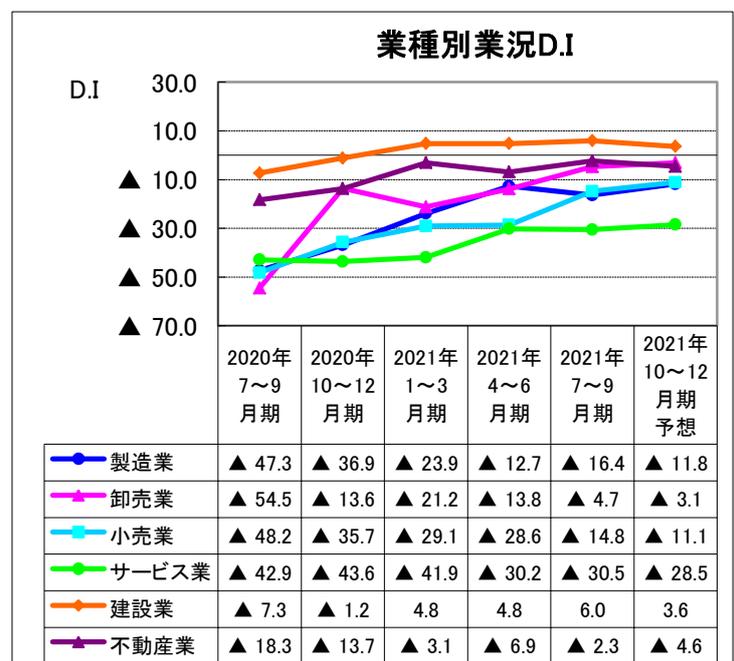
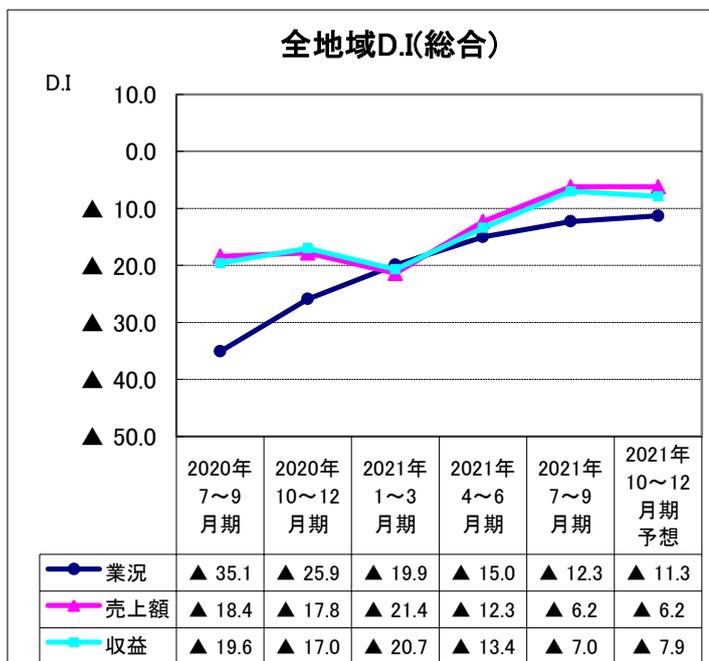
項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期	2021年 10月～12月 期予想	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期	2021年 10月～12月 期予想	2021年 4月～6月期	2021年 7月～9月期	2021年 10月～12月 期予想
業況	▲ 15.0	▲ 12.3	▲ 11.3	▲ 10.7	▲ 14.8	▲ 9.3	5.1	▲ 9.5	▲ 11.7
売上額	▲ 12.3	▲ 6.2	▲ 6.2	▲ 17.2	▲ 8.1	▲ 7.7	11.1	▲ 4.7	▲ 6.5
収益	▲ 13.4	▲ 7.0	▲ 7.9	▲ 17.6	▲ 6.6	▲ 8.1	7.2	▲ 7.3	▲ 9.5
販売価格	2.0	3.4	2.2	0.0	3.0	2.2	7.2	4.7	1.5
仕入価格	15.1	19.0	15.8	16.0	20.7	17.7	21.7	19.8	15.0
在庫	▲ 6.1	▲ 3.8	▲ 4.3	▲ 6.1	▲ 2.5	▲ 3.4	▲ 3.2	▲ 6.2	▲ 6.7
資金繰り	1.7	▲ 2.2	0.8	3.8	▲ 2.2	▲ 3.3	10.4	▲ 1.1	5.8
人手	▲ 12.4	▲ 13.0	▲ 14.4	▲ 19.1	▲ 18.8	▲ 19.6	▲ 14.1	▲ 5.9	▲ 7.7
設備状況	▲ 6.9	▲ 6.5	▲ 6.9	▲ 6.7	▲ 7.4	▲ 7.9	▲ 12.7	▲ 4.8	▲ 5.3

2021年7月～9月期実績

《 製造業、サービス業で低迷する 》
当期の全地域の全業況D.Iは▲12.3、前期比 2.7ポイントプラスと上向きました。全地域の業種別では、製造業、サービス業において低迷しました。

2021年10月～12月期見通し

《 姫路地域では上向き、神戸地域では低迷する見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは▲11.3、当期比1.0ポイントプラスとさらに上向く見通しです。全地域の業種別では、建設業、不動産業以外の業種において上向く見通しです。地域別では、姫路地域では上向き、神戸地域では低迷する見通しです。



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2021年9月上旬

3. 調査対象期間

2021年7月～9月期実績（2021年4月～6月期との比較）

2021年10月～12月期予想（2021年7月～9月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

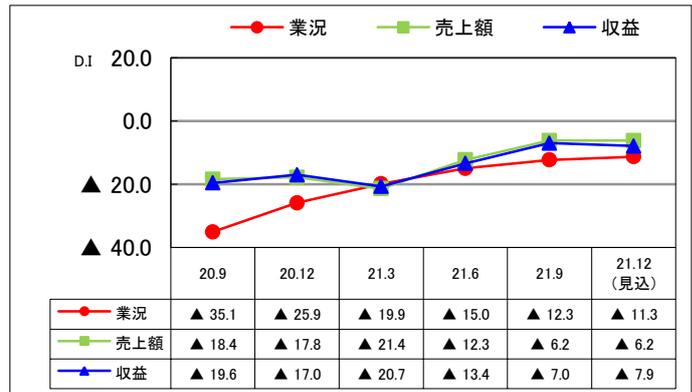
	依頼数	回答数	回答率
製造業	112	111	99.1%
卸売業	66	64	96.9%
小売業	56	55	98.2%
サービス業	151	151	100.0%
建設業	84	84	100.0%
不動産業	131	131	100.0%
合計	600	596	99.3%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは▲12.3、前期比2.7ポイントプラス（前年同期比+22.8）と上向きました。業種別では、製造業、サービス業において低迷しました。

来期予想D.Iは▲11.3、当期比1.0ポイントプラスとさらに上向く見通しです。業種別では、建設業、不動産業以外の業種において上向く見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは▲6.2、前期比6.1ポイントプラス（前年同期比+12.2）と持ち直しました。業種別では、製造業において低迷しました。

来期予想D.Iは▲6.2、当期と横ばいで推移する見通しです。業種別では、製造業、卸売業、小売業において上向く見通しです。

3. 収益

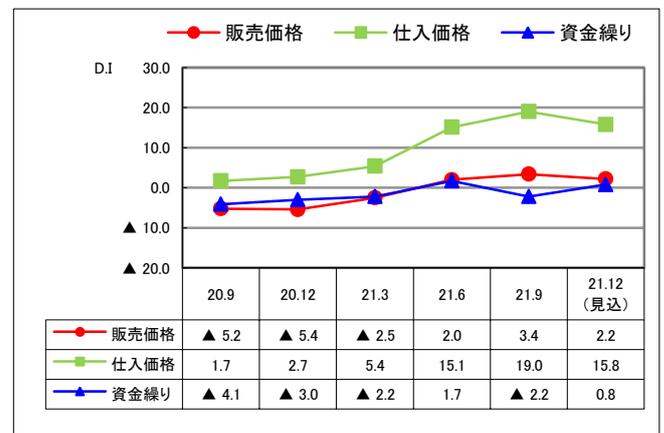
全業種における収益D.Iは▲7.0、前期比6.4ポイントプラス（前年同期比+12.6）と持ち直しました。業種別では、全業種において改善しました。

来期予想D.Iは▲7.9、当期比0.9ポイントマイナスと低迷する見通しです。業種別では、製造業、卸売業、小売業において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは▲2.2、前期比3.9ポイントマイナス（前年同期比+1.9）と窮屈感が現れました。業種別では、製造業において和らぎました。

来期予想D.Iは0.8、当期比3.0ポイントプラスと窮屈感を脱する見通しです。業種別では、卸売業、不動産業において厳しさが増す見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは3.4、前期比1.4ポイントプラス（前年同期比+8.6）と上昇幅が拡大しました。業種別では、製造業、サービス業、建設業において上昇しました。

来期予想D.Iは2.2、当期比1.2ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、卸売業、小売業において上昇する見通しです。

6. 仕入価格

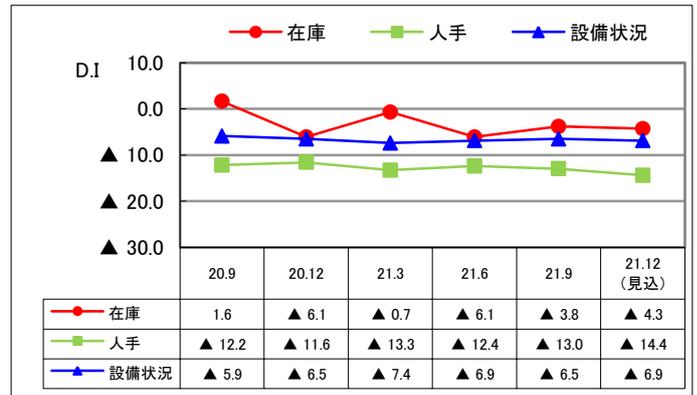
全業種における仕入価格D.Iは19.0、前期比3.9ポイントプラス（前年同期比+17.3）と上昇幅が拡大しました。業種別では、小売業以外の業種において上昇しました。

来期予想D.Iは15.8、当期比3.2ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、小売業において上昇する見通しです。

7. 在庫

全業種における在庫D.Iは▲3.8、前期比2.3ポイントプラス（前年同期比 ▲5.4）と不足感が改善しました。業種別では、製造業以外で不足感が改善しました。

来期予想D.Iは▲4.3、当期比0.5ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、小売業、不動産業以外で不足感が強まる見通しです。



8. 人手

全業種における人手D.Iは▲13.0、前期比0.6ポイントマイナス（前年同期比 ▲0.8）と不足感が強まりました。業種別では、小売業、サービス業、建設業で不足感が強まりました。

来期予想D.Iは▲14.4、当期比1.4ポイントマイナスとさらに不足感が強まる見通しです。業種別では、小売業以外で不足感が強まる見通しです。

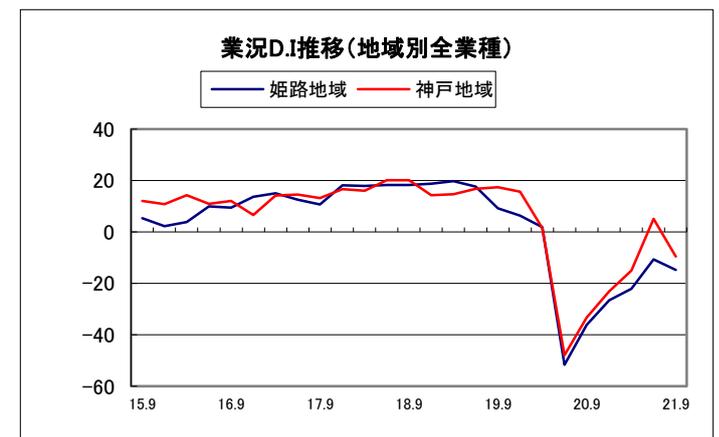
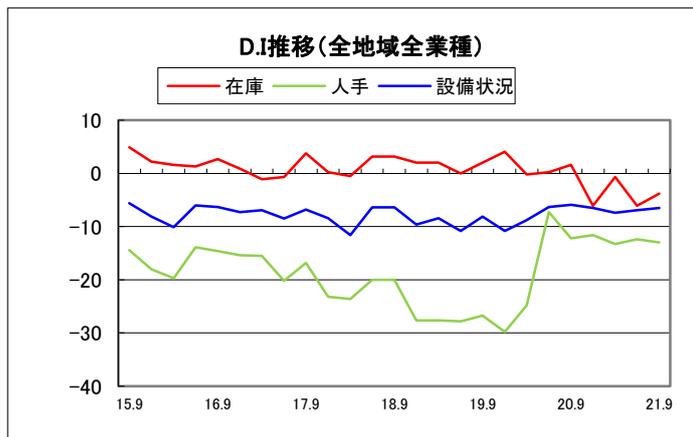
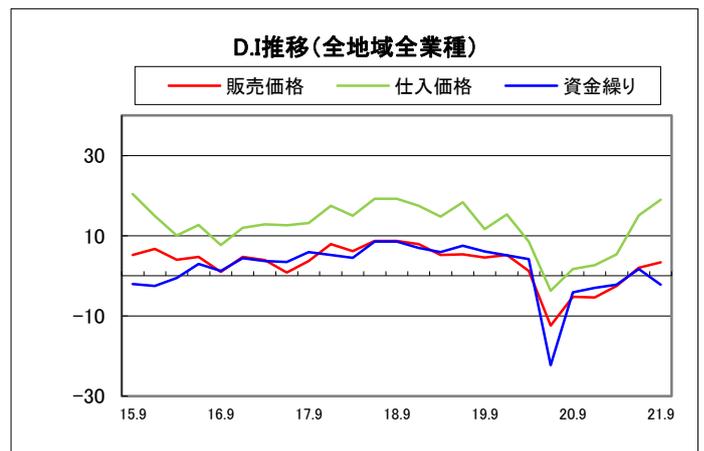
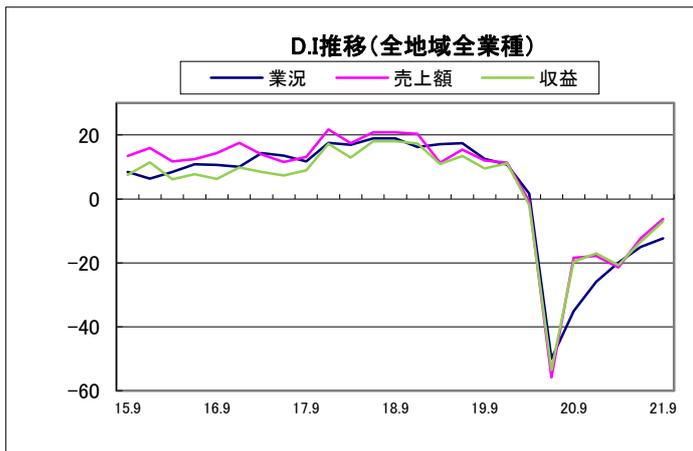
9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲6.5、前期比0.4ポイントプラス（前年同期比 ▲0.6）と改善しました。

また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は31.8%、前期比2.1ポイントプラス（前年同期比 9.1）と増加しました。また業種別では、卸売業において設備投資を行った企業の割合が減少しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は31.1%、当期比減少▲0.7ポイントマイナスと減少する見通しです。

過去D.I推移



地域別景況D. I

□ 全業種総合

(姫路地域) 回答企業321企業 (回答率99.0%)
 (神戸地域) 回答企業275企業 (回答率99.6%)

1. 業況

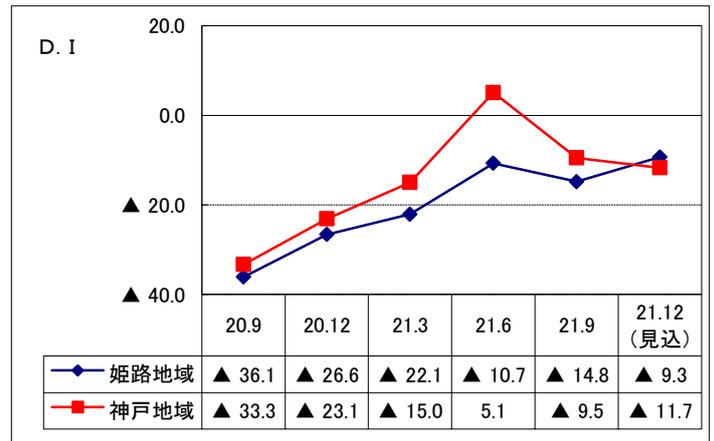
姫路地域の業況D. Iは▲14.8、前期比4.1ポイントマイナス（前年同期比+21.3）と低迷しました。

来期予想D. Iは▲9.3、当期比5.5ポイントプラスと上向き見通しです。

神戸地域の業況D. Iは▲9.5、前期比14.6ポイントマイナス（前年同期比+23.8）と厳しさを強めました。

来期予想D. Iは▲11.7、当期比2.2ポイントマイナスと低迷する見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも悪化しました。



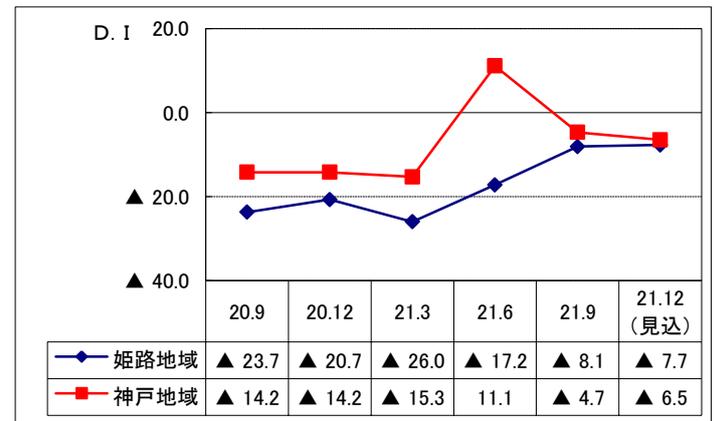
2. 売上額

姫路地域の売上額D. Iは▲8.1、前期比9.1ポイントプラス（前年同期比+15.6）と持ち直しました。

来期予想D. Iは▲7.7、当期比0.4ポイントプラスとさらに減少幅が縮小する見通しです。

神戸地域の売上額D. Iは▲4.7、前期比15.8ポイントマイナス（前年同期比+9.5）と水面下に落ち込みました。

来期予想D. Iは▲6.5、当期比1.8ポイントマイナスと低迷する見通しです。



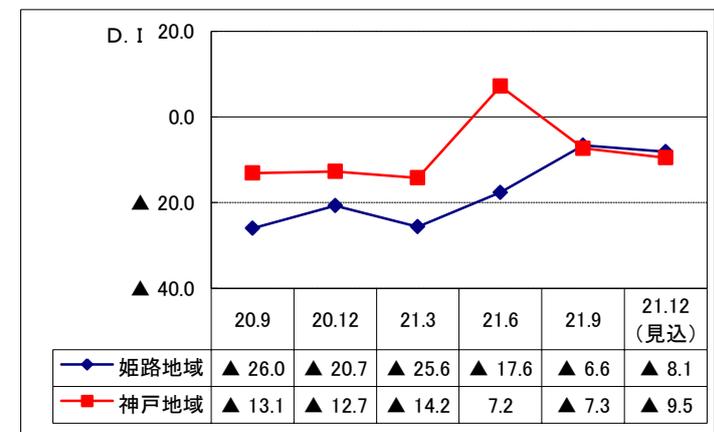
3. 収益

姫路地域の収益D. Iは▲6.6、前期比11.0ポイントプラス（前年同期比+19.4）と持ち直しました。

来期予想D. Iは▲8.1、当期比1.5ポイントマイナスと低迷する見通しです。

神戸地域の収益D. Iは▲7.3、前期比14.5ポイントマイナス（前年同期比+5.8）と水面下に落ち込みました。

来期予想D. Iは▲9.5、当期比2.2ポイントマイナスと低迷する見通しです。



特別調査「中小企業の雇用環境について」

問1 貴社では、人手の状況をどのように認識していますか。人手が不足している場合は1～4より、人手が過剰な場合は6～9よりそれぞれ過不足のある職域をお答えください。なお、適正な場合は5を選択してください。

人手不足

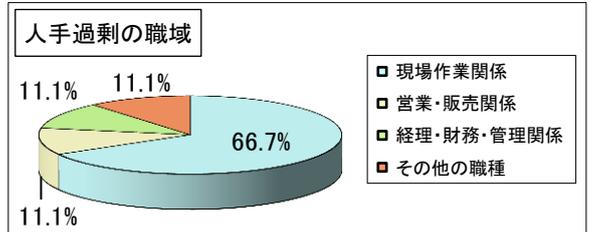
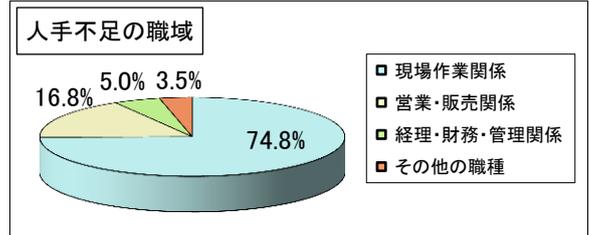
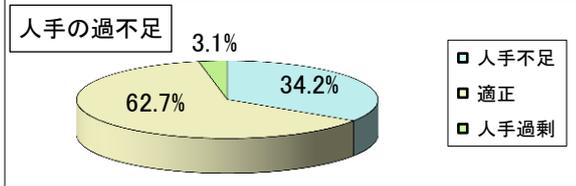
1. 現場作業関係
2. 営業・販売関係
3. 経理・財務・管理関係
4. その他の職種

人手過剰

6. 現場作業関係
7. 営業・販売関係
8. 経理・財務・管理関係
9. その他の職種

適正

5. 適正

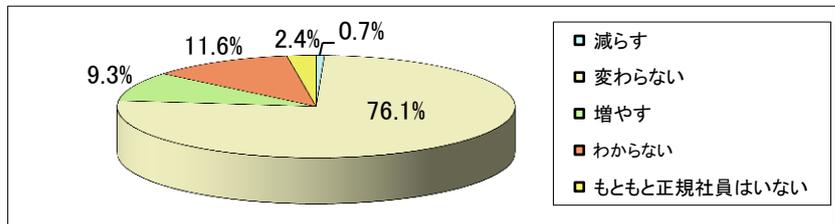


人手の状況についてどのように認識していますかについて、最も多い回答は「適正」62.7%、次いで「人手不足」34.2%、「人手過剰」3.1%という結果となりました。

問2 政府はこれまで、最低賃金を毎年3%程度、引き上げてきました（2020年を除く）。最低賃金の引き上げが、貴社の雇用に与える影響はありますか。正規社員への影響については1～5の中から、非正規社員への影響については6～0の中から選んでお答えください。

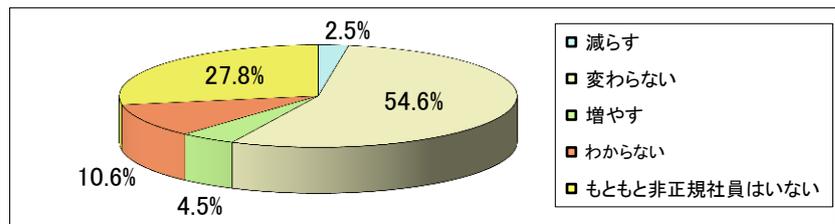
正規社員への影響

1. 減らす
2. 変わらない
3. 増やす
4. わからない
5. もともと正規社員はいない



非正規社員への影響

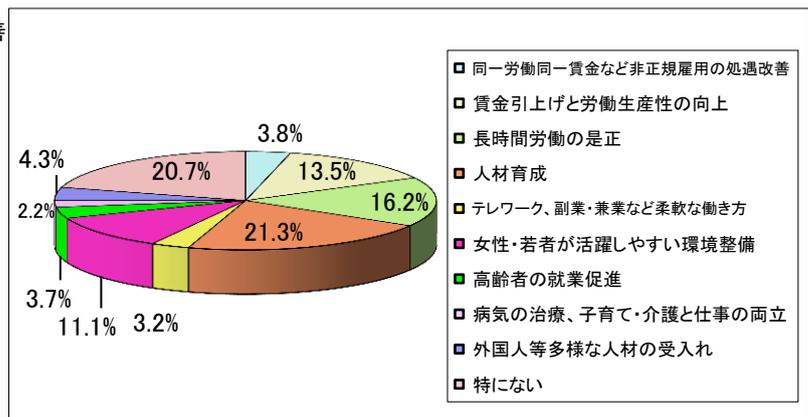
6. 減らす
7. 変わらない
8. 増やす
9. わからない
0. もともと非正規社員はいない



最低賃金の引き上げが、貴社の正規社員の雇用に与える影響について、最も多い回答は「変わらない」76.1%、次いで「わからない」11.6%、非正規社員の雇用に与える影響については「変わらない」54.6%、次いで「もともと非正規社員はいない」27.8%という結果となりました。

問3 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

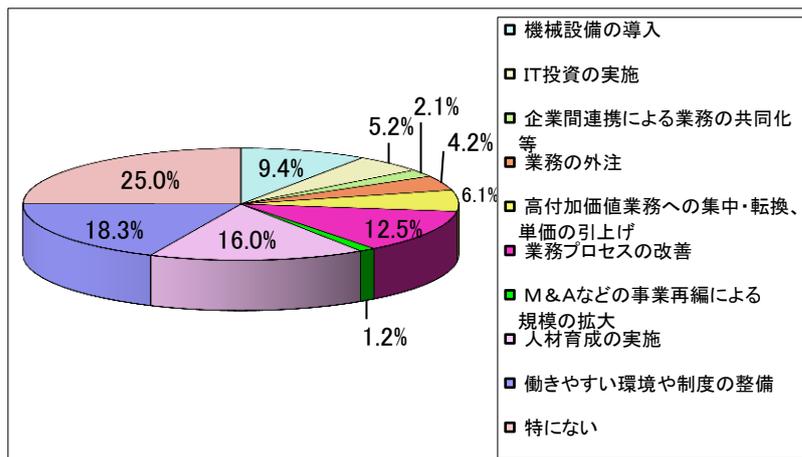
1. 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善
2. 賃金引上げと労働生産性の向上
3. 長時間労働の是正
4. 人材育成
5. テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方
6. 女性・若者が活躍しやすい環境整備
7. 高齢者の就業促進
8. 病気の治療、子育て・介護と仕事の両立
9. 外国人等多様な人材の受入れ
0. 特にない



人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますかについて、最も多い回答は「人材育成」21.3%、次いで「特にない」20.7%という結果となりました。

問4 人材確保が難しくなるなか、貴社では、生産性向上に向けた取組みをしていますか。1～9の中から最大3つまでお答え下さい。なお、特にないという方は0を選択下さい。

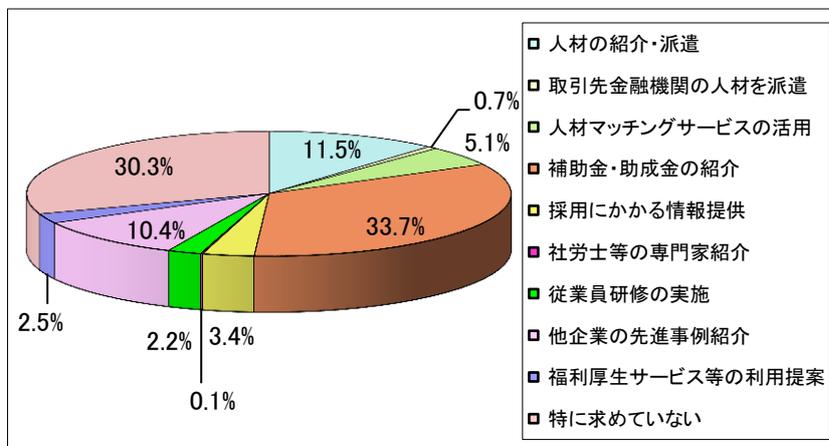
1. 機械設備の導入
2. IT投資の実施
3. 企業間連携による業務の共同化等
4. 業務の外注
5. 高付加価値業務への集中・転換、単価の引上げ
6. 業務プロセスの改善
7. M&Aなどの事業再編による規模の拡大
8. 人材育成の実施
9. 働きやすい環境や制度の整備
0. 特にない



人材確保が難しくなるなか、生産性向上に向けた取組みをしていますかについて、最も多い回答は「特にない」25.0%、次いで「働きやすい環境や制度の整備」18.3%という結果となりました。

問5 貴社では、人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることはありますか。1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特にないという方は0を選択下さい。

1. 人材の紹介・派遣
2. 取引先金融機関の人材を派遣
3. 人材マッチングサービスの活用
4. 補助金・助成金の紹介
5. 採用にかかる情報提供
6. 社労士等の専門家紹介
7. 従業員研修の実施
8. 他企業の先進事例紹介
9. 福利厚生サービス等の利用提案
0. 特に求めている



人材育成や確保のために、地域金融機関に対して融資以外の点で求めることはありますかについて、最も多い回答は「補助金・助成金の紹介」33.7%、次いで「特に求めている」30.3%という結果となりました。